

具体的な回収方法は、各家庭で出た廃食用油を十分に冷ました後、ペットボトルに移しかえたらうえ、ペットボトルごと回収ボックスへ投入していただきたいと考えています。

回収場所については、大洲市役所を初め各支所の担当課窓口、大洲市総合福祉センター、最寄りの公民館など29カ所を予定しており、平成22年1月4日から回収を行う予定としています。

また、大洲市役所及び大洲市総合福祉センターについては、施設玄関前に専用の廃食用油回収ボックスを設置し、のぼりを立てて、

市役所玄関横に設置した  
廃食用油回収ボックス



資源循環型のまちづくりをアピールしたいと考えています。

収集した廃食用油は、有償にて民間事業所へ引き渡し、今後安定的な量の確保ができたなら、バイオディーゼル燃料として公用車への利用も検討したいと考えています。

## 父子家庭支援

**問** 今後の支援について

**答** 父子家庭への支援策については、母子家庭と同様に小口資金貸付事業、日常生活支援事業等を実施しているところですが、市の独自給付としての父子手当等は、県下11市において

も従来から実施していないのが現状であり、費用がすべて市の持ち出しとなることから、市単独での実施は非常に困難であると考えています。

国においては、現在児童扶養手当の父子家庭への支給について、平成22年度予算概算要求の中で検討されていますが、詳細は今のところ不明です。

今後については、現在実施している制度の周知、活用を図るとともに、国、県の施策に合わせた父子家庭への支援を実施したいと考えています。



## 常任委員会 管内視察



総務企画委員会（消防団北平分団詰所）



厚生文教委員会（肱川風の博物館）



建設農林委員会（長浜港で建設中のケーソン）